

5 デジタルネイティブな金融サービスで競争力を高める5つの方法

競争力を高めることは決して難しいことではありません

物理的なフットプリントという経費のかからないフィンテックやビッグテックの金融サービスやその他のデジタルネイティブな金融機関は、従来の金融機関よりも柔軟性が高いように見えるかもしれませんが。こうした金融サービスや機関は、競争力の高い価格、ピアツーピア(P2P)マーケットプレイス、モバイルに特化したサービスで顧客を惹きつけ、勝利を収めています。しかし、長期的な取引関係や幅広いサービスといった貴社が持つ強みは兼ね備えていません。さらに、コーポレート、インベストメント、プライベートエクイティなどのリテールバンキング以外の分野への対応力においても貴社の方が勝っています。ここでは、課題を克服し、貴社の強みを生かして、競争を勝ち抜くための5つの重要な方法をご紹介します。

1

戦略的優位性の構築:フレキシブルでパーソナルなサービス

デジタルネイティブな金融機関と比較して、貴社の最も重要な強みは「人材」です。

人間には温かみがあり、人の心を読む力は電子機器にはありません。

さらに社員の持つ力を引き出すためには、企業のコンテンツをよりよく理解し、そこから意味を生み出す能力を与えることです。自動化によって非構造化コンテンツを構造化された実用的な情報に変えることができれば、社員はより賢く職務をこなし、プロセスはより効率的に実行され、さらに顧客エンゲージメントも強化されます。

2 アジリティの向上:プロセスの摩擦を解消

従来の金融サービスでは、さまざまな経路から送られてくれる大量のコンテンツを処理することが日常業務の一部になっています。こうしたコンテンツは、フォーマットも紙であったりデジタル形式であったりとさまざまです。

ミスや見落としは、お客様だけでなく、社員、パートナー、規制当局者の誰もが感じる摩擦を引き起こしてしまいます。ところが現代の技術があれば、ミスや見落としを防止するだけでなく、プロセスのどこで摩擦が生じているかを正確に把握し、早急に対策を講じることができます。

3 変化や課題に対処するためのレジリエンスの向上

新しいコンテンツが次々とリリースされるような状況に遭遇した場合(コロナ禍における景気対策のための融資を例にとってみてください)、貴社のプロセスはそれらを効果的に処理できるように構築されていますか?文書処理のプロセスが自動化され、インテリジェントであればあるほど、貴社の「ゼロ地点」は優位になります。しかし、プロセスを積極的に可視化し、混乱の影響を予測することができれば、さらに優位に立つことができます。機械学習や人工知能を活用したテクノロジーは、コンテンツを多用するワークフローの予測的・処方的分析を可能にします。これらは即戦力として活用することができます。

4 既存のテクノロジーの活用と応用

コンテンツ処理のワークフローは、情報を組織内の他のシステムで簡単に処理できるフォーマットで自動的に受け渡したり、ファイルストレージリポジトリやデータベース、ERPやECM用のシステムに直接取り込むことができれば最も効果的です。それはすなわち、ロボティックプロセスオートメーション(RPA)ワークフローとのスムーズな連携により、データを企業のシステムに送り込むことを意味しています。さらに、コンテンツがどこにあるのかをエンドツーエンドで確認することも必要です。

5 常に潔白なブランドとして:セキュリティとコンプライアンスを徹底的に強化

デジタルネイティブな金融機関に対抗するうえで最大の強みとなるパーソナルなつながりは、信頼関係を基に成り立っています。プロセスを常にモニタリングし、犯罪行為による損失やコンプライアンス違反による罰則につながるおそれのある異変をアラートで知らせることで、貴社の利益を守ることができます。さらに、非常に現実的なシナリオとして、それが評判の低下を防ぎ、その結果、すでに確立した取引関係のライフタイムバリューを維持することもできます。

ABBYY を通じて競争力を強化

ABBYY は、コンテンツを多用するプロセスに対応した、包括的な独自のアプローチを展開しています。それにより、貴社はステークホルダーに対し、摩擦のない、より魅力的なエクスペリエンスを提供できるようになります。ABBYYの技術があれば、構造化・非構造化コンテンツのキャプチャ、認識、フィールド抽出、検証を自動化し、コンテンツを処理する必要のあるすべてのシステムにそれらの情報を送り込むことができます。

貴社のワークフローをエンドツーエンドで可視化することで、タイムリーな介入、犯罪行為の検知と阻止、コンプライアンスリスクの軽減を実現します。ABBYY製品導入のメリットについては、以下のリンクをご参照ください: [ABBYY.com/ja/finserv](https://abbyy.com/ja/finserv)



詳しい情報については、www.abbyy.com/ja をご参照ください。
お問い合わせは、右記URLに記載のABBYYまでお願いします。: www.abbyy.com/ja/contacts。
© ABBYY 2022. ABBYY は、ABBYY Development Inc. および関連会社の登録商標または商標です。この表記は、ABBYY Development Inc. およびその関連会社のロゴ、製品、会社名 (またはそのいずれかの一部) である場合があり、各所有者の同意なしに使用することはできません。ここに記載されている製品名および商標は、各所有者に帰属します。#12923

abbyy.com